

佳作

私の目標

宮城県仙台市立五橋中学校

1年 大柴 凜花

私には本気で達成したいと思っている目標があります。それは、書道パフォーマンスができる高校に入学して、書道パフォーマンス甲子園に出場することです。

私が書道に興味を持ったのは、小学2年生の頃です。宮城県小中学校児童生徒書きぞめ展覧会で金賞を受賞したことをきっかけに、自分の字に自信が持てるようになり、書道教室に通い始めました。書道を通して成長できている自分を実感することがとても楽しくて仕方がないという気持ちと同時に、もと上達したいという気持ちも芽生えました。そんなとき、母から

「書道パフォーマンス甲子園ってというのがあったって。凜花もこれを目指してみたらいいんじゃない？」

と言われました。私は書道パフォーマンス甲子園にとっても惹かれました。書道パフォーマンス甲子園をテレビで観たり、インターネットでたくさん調べたりしました。その面白さのとりこになり、本気で目指そうと思いました。ただ、今の自分の実力では難しいと思いました。だから私は今、この書道パフォーマンス甲子園に出場するために、四つのことに取り組んでいます。

一つ目は、書道に関する本をたくさん読むことです。私が通っている書道教室では、毎月1日に独自の『書道研究誌』が発行されています。それを端から端まで全部暗記する勢いで読んでいます。もちろんただ読むだけでなく、プロの書道家の解説や、大人の方の作品のよいところをノートにまとめたりしています。そうすることによって、自分の課題点を見つけることができたり、もっと上手に書けるコツをつかめることもあります。この書道研究誌以外でも、図書館や図書館で見つけた書道に関する本を読んで、知識を身に付けられるように努力しています。

二つ目は、ダンスの練習をすることです。書道を上達させることだけでなく、踊りながら書道をするのが書道パフォーマンスなので、ダンスの練習はとても大事です。私は特にダンスを習ったりしたことはないのですが、練習はとても大変ですが、ダンスが上手な同級生や先輩方に教えてもらいながら、日々練習を頑張っています。私が所属している五橋中学校書道部は、文化祭で高校の書道パフォーマンスと同じような発表をするので、その練習を通じてどんどんレベルアップさせていきたいです。

三つ目は、いろいろな書道展を見に行くことです。自分の作品が出品されている書道展はもちろん、自分の作品が出品されていなくても、先生が作品を出品している書道展やおすすめされた書道展には必ず足を運びます。シンプルな作品や個性的な作品などさまざまな作品があり、自分には表現できないような素晴らしい作品を見るのはとても楽しいです。「こんな表現の仕方もあるんだ！」と新たな気づきや学びがあるところが書道展の良いところです。また、書道展ではプロの書道家の方に偶然会えるということも多くあります。優しい方ばかりで、

「この作品はこういうところがとても良いよね。」
とプロの視点でのお話を聞けることもあります。

四つ目は、指摘されたことをしっかりと復習することです。私が通っている書道教室では、1枚作品を完成させるたびに先生に見せ、アドバイスをもらいます。私はそのアドバイスをメモ帳やスマートフォンのメモアプリに書き、次回のレッスンまでに直せるように、家で改善方法を考えています。次回のレッスン時に先生に改善した点をほめてもらえると、とてもうれしい気持ちになり、一歩成長できた自分を実感できるので、これからも続けていきたいと思います。

私にとって書道は、自分の目標を与えてくれた特別な存在です。私がこうやって目標に向かって努力できているのも書道があったからです。もし私が書道パフォーマンス甲子園に出場することができたら、一人でも多くの人に夢や目標を持って努力することの素晴らしさを伝えたいです。応援してくださる人たちに感謝しながら、これからも目標に向かって努力し続けたいと思います。